



DIGITAL MIXING CONSOLE

CL5

CL3

CL1

V2.0 追補マニュアル

この追補マニュアルでは、CL5/CL3/CL1 ファームウェア V2.0 で追加 / 変更された機能を中心に説明します。
CL5/CL3/CL1 取扱説明書、リファレンスマニュアル、V1.7 追補マニュアルと併せてご利用ください。

目次

SELECTED CHANNEL セクション	3
フェーダーの機能追加	3
インサートの機能追加	3
インプット系チャンネル	4
ゲインの機能追加	4
グルーピング / リンク	5
DCA ROLL-OUT 機能	5
DCA のアウトプット系チャンネルの追加	6
ミュートグループの機能追加	7
チャンネルリンクの機能追加	7
チャンネルジョブの機能追加	7
シーンメモリー	8
シーンメモリーの機能追加	8
グラフィック EQ/ エフェクト / PREMIUM RACK	9
グラフィック EQ の機能拡張	9
ユーザー設定	10
ネームディスプレイの機能追加	10
レコーダー (Nuendo Live)	10
レコーダー(Nuendo Live) の機能追加	10
そのほかの機能	11
GPI の機能追加	11
USER DEFINED キーに割り当て可能な機能追加	11
USER DEFINED ノブに割り当て可能な機能追加	11
ASSIGNABLE ENCODER に割り当て可能な機能追加	11

SELECTED CHANNEL セクション

フェーダーの機能追加

USER DEFINED ノブに割り当てた TOUCH AND TURN 機能を用いて、SELECTED CHANNEL VIEW 画面にある FADER フィールドのフェーダーを操作できるようになりました。

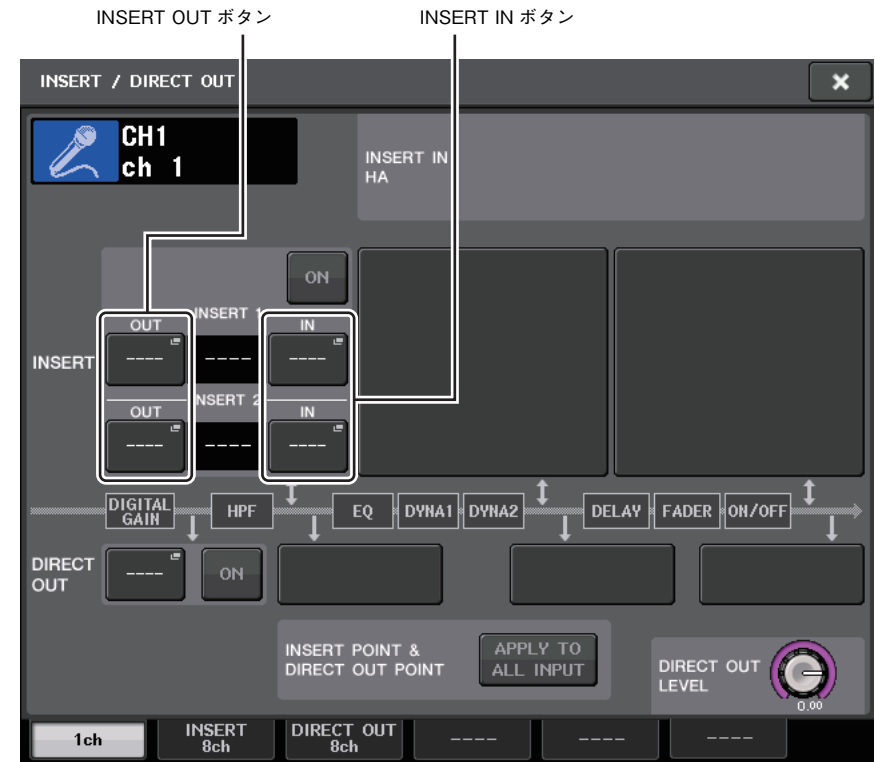


インサートの機能追加

1 つのチャンネルやバスに 2 つのデバイスをインサートできるようになりました。

■ インサート設定

1. バンクセレクトキーや [SEL] キーを使って、インサートしたいチャンネルやバスを選びます。
2. SELECTED CHANNEL VIEW画面のINSERTフィールドにあるポップアップボタンを押して、INSERT/DIRECT OUT ポップアップ画面 (1ch) を表示させます。
(OVERVIEW 画面では INSERT/DIRECT OUT フィールドを押して、INSERT ポップアップ画面 (8ch) を表示させます。)



3. INSERT OUT ボタンまたは INSERT IN ボタンを押します。

4. 出力ポートまたは入力ポートを選びます。

NOTE

・ INSERT 1 と INSERT 2 を合わせたインサート数には下記表のように、チャンネル単位ごとに制限があります。出力ポートや入力ポートの選択内容に制限はありません。

	CH1-16	CH17-32	CH33-48	CH49-64 (CL5、 CL3のみ)	CH65-72 (CL5のみ)	MIX1-24/ ST/MONO	MATRIX1-8
INSERT OUT	16	16	16	16	8	30	8
INSERT IN	16	16	16	16	8	30	8

・ インサート数は INSERT OUT、INSERT IN それぞれにおいて、制限数を超えた場合は左側に **!** インジケータが点灯します。



- ・ 制限数を超えた場合、無効となるポートには取り消し線が表示されます。
- ・ 制限数を超えた場合、ポートの優先順位は上記表のチャンネル単位ごとに下記のとおりです。
 - ① INSERT 2 より INSERT 1 が優先。
 - ② チャンネル番号の小さい順が優先。

インプット系チャンネル

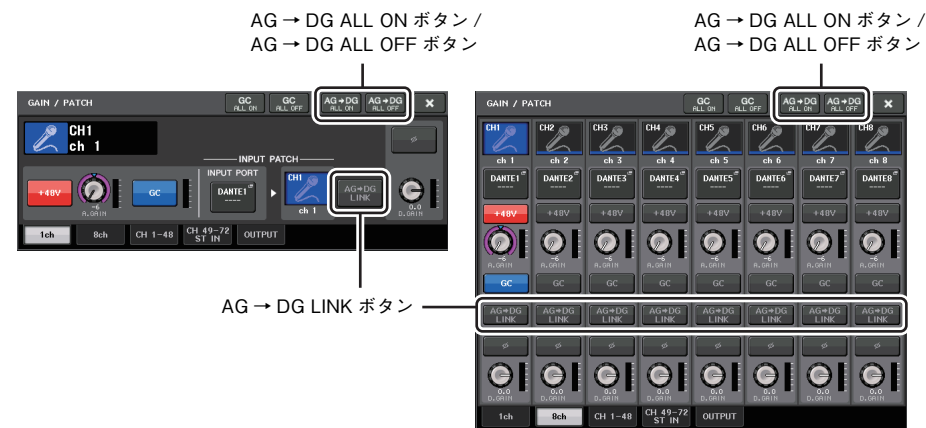
ゲインの機能追加

ゲインコンペンセーション有効時、アナログゲインの操作にデジタルゲインをリンクさせることができようになりました。

アナログゲインを操作したときに、ゲインコンペンセーション機能により他のコンソールのレベルには影響を与えずに、自分のコンソールでのみレベルも変化させることができます。

■ リンク設定

1. OVERVIEW画面(またはSELECTED CHANNEL VIEW画面)のGAIN/PATCHフィールドにあるGAIN ノブを押します。
2. GAIN/PATCH 画面の 1ch または 8ch タブを押します。



3. AG → DG LINK ボタンを押して、リンクをオンにします。
AG → DG ALL ON ボタン / AG → DG ALL OFF ボタンで、すべてのインプット系チャンネルにおいてアナログゲインとデジタルゲインとのリンクを一括でオン / オフできます。

SELECTED CHANNEL VIEW 画面でも、リンクの確認ができます。



- : オンの場合
- : オフの場合

グループピング / リンク

DCA ROLL-OUT 機能

DCA グループに割り当てられたチャンネル群をフェーダーバンクに一括呼び出しできるようになりました。

Centralogic セクションで DCA フェーダーを操作しながら、DCA ROLL-OUT を用いて特定の DCA グループに割り当てられたフェーダー群を Centralogic 左側のフェーダーバンクに展開して操作する、または左側のフェーダーバンクで DCA フェーダーを操作しながら、Centralogic セクションに DCA ROLL-OUT で展開したフェーダー群を操作する、といった柔軟な操作ができるようになります。

■ DCA ROLL-OUT 操作

1. 操作するDCAグループをバンクセレクトキーで選び、そのDCAグループの[SEL]キーを押します。
DCA ROLL-OUT モードに入り、DCA グループに割り当てられたフェーダー群が展開されます。
2. 別のDCAグループの[SEL]キーを押すと、そのDCAグループに割り当てられたフェーダー群が展開されます。
3. 同じ [SEL] キーをもう一度押すことで、DCA ROLL-OUT モードから抜けます。

NOTE

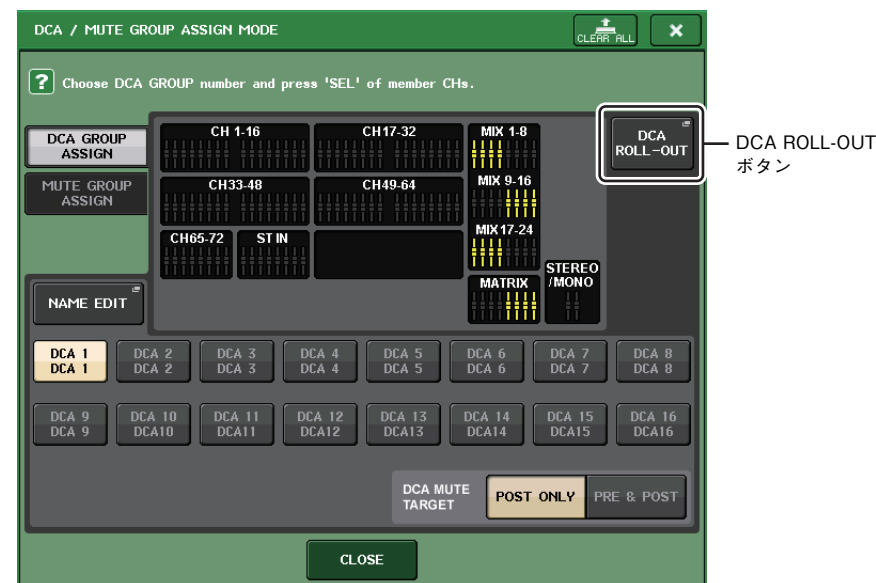
- ・ DCA グループの操作(チャンネル割り当てやグループ名編集)をしているときは、ROLL-OUT モードに切り替えることができません。
- ・ GEQ をフェーダーで操作しているときに、ROLL-OUT モードに入ってもフェーダーで DCA グループの調節はできません。
- ・ DCA グループに割り当てられたチャンネル数が、展開するブロックのフェーダー数を超える場合、越えたチャンネルは操作できません。
- ・ 表示チャンネルに該当するブロックのバンクセレクトキーが全点灯します。
- ・ フェーダー展開が Centralogic セクション(B ブロック)の場合、Centralogic セクションの IN/OUT 選択キーは無効となります。
- ・ フェーダー展開していないブロックのバンクセレクトキーは通常動作をします。

■ DCA ROLL-OUT 設定

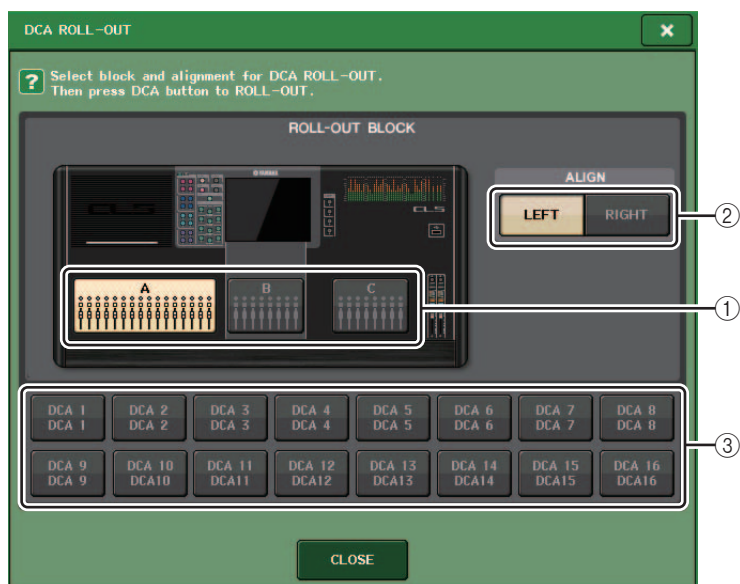
1. ファンクションアクセスエリアの CH JOB ボタンを押します。



2. DCA GROUP ボタンを押して DCA/MUTE GROUP ASSIGN MODE ポップアップ画面を表示させます。



3. DCA ROLL-OUT ボタンを押します。



① ROLL-OUT BLOCK

DCA グループをフェーダーに展開するブロックを選択します。

CL5 : A、B、C ブロック

CL3/CL1 : A、B ブロック

② ALIGN ボタン

DCA グループをフェーダーに左詰め展開するか、右詰め展開するかを選択します。

③ DCA グループ選択ボタン

操作する DCA グループを選択します。

4. DCA グループを選択します。

選択されている DCA グループと異なる [SEL] キーを押すと、グループが切り替わります。

5. 展開するフェーダーのブロックやアラインを選択します。

6. CLOSE ボタンを押して、ポップアップ画面を閉じます。

NOTE

下記の画面を表示している場合、DCA ROLL-OUT モードには入れません。また、この画面を開こうとすると、DCA ROLL-OUT モードから抜けます。

- DCA/MUTE GROUP ASSIGN MODE ポップアップ画面
- RECALL SAFE MODE ポップアップ画面

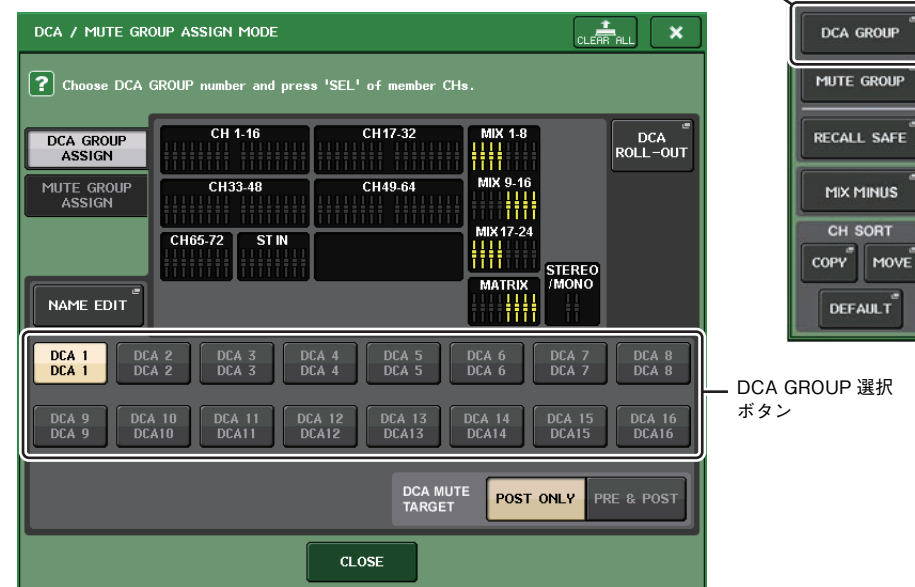
DCA のアウトプット系チャンネルの追加

Stereo/Mono バスマスター、Mix バスマスターおよび Matrix バスマスターが DCA グループに割り当てることができるようになりました。

これにより、従来入力系チャンネルのみであった DCA を用いたグルーピングが出力マスターでも可能になり、より自由度の高い一括コントロールができるようになりました。

1. ファンクションアクセスエリアの CH JOB ボタンを押します。

2. DCA GROUP ボタンを押して DCA/MUTE GROUP ASSIGN MODE ポップアップ画面を表示させます。



3. DCA GROUP 選択ボタンを使って、チャンネルの割り当て先となる DCA グループを選びます。

4. アウトプット系チャンネルの [SEL] キーを押して、割り当て元となるチャンネルを選びます。

5. 割り当てが終わったら、CLOSE ボタンを押してポップアップ画面を閉じ、ファンクションアクセスエリア (CH JOB 表示) の×マークを押します。

ミュートグループの機能追加

ミュートグループでミュート中に一時解除ができるようになりました。

チャンネルが所属するいずれかのミュートグループマスターボタンがオンのときに、そのチャンネルの [ON] キーをオンにすると、ミュートを一時的に解除できます。ただし、PREVIEW モードではミュート中の操作が無効となります。

チャンネルリンクの機能追加

チャンネルリンクされているチャンネルにおいて、リコールセーフの対象パラメーターが連動するようになりました。

選択したチャンネルのリコールセーフの対象パラメーターを RECALL SAFE MODE 画面で設定している場合、リンクされている他のチャンネルに対してパラメーター設定が連動します。

チャンネルジョブの機能追加

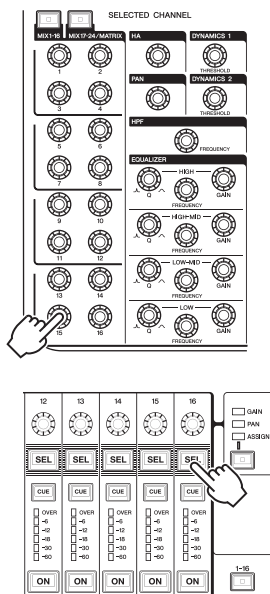
MIX/MATRIX バスに送られる信号から特定チャンネルの信号だけを抜くミックスマイナス機能に対応しました。これを利用すれば、演奏者やアナウンサー用のモニター信号として、本人の音声だけを抜いた信号を素早く送ることができます。

NOTE

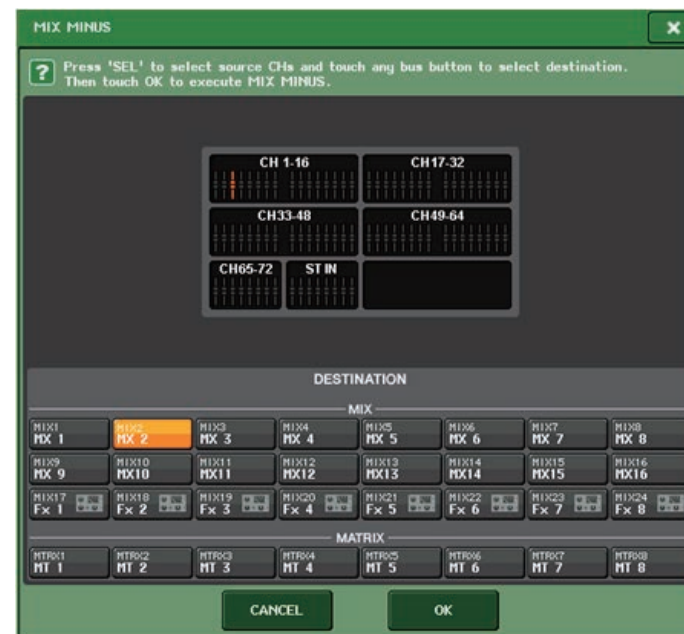
ミックスマイナスは、いわゆるモードを切り替えるような操作ではなく、設定を素早く行なうためのショートカットです。このため、実行した後も画面の各パラメーターは自由に変更できます。

■ ミックスマイナス操作

1. [SEL] キーを押しながら、SELECTED CHANNEL セクションの MIX ノブや MATRIX ノブを押します。



2. MIX MINUS ポップアップ画面が開きます。



HINT

MIX MINUS ポップアップ画面は、ファンクションアクセスエリアの CH JOB ボタン → MIX MINUS ボタンから開くこともできます。

3. カットするインプットチャンネルを追加する場合は、[SEL] キーを押します。
4. 必要に応じて、DESTINATION フィールドでバスを選択します。

NOTE

バスタイプが FIXED になっているバスは選択できません。

5. OK ボタンを押すと、以下のようにパラメーターが設定されます。

- 選択したインプットチャンネルから送られる信号のセンドレベルが、 $-\infty$ dB まで下がります。
- 選択した以外のすべてのインプットチャンネルから送られる信号のセンドレベルは、ノミナルレベル (0.0dB) に設定されます。
- また、送り先のバスへのセンドがオンになり、センドポイントは POST に切り替わります。

NOTE

ステレオインプットチャンネルは、両方のチャンネルから送られる信号のセンドレベルが $-\infty$ dB となります。

シーンメモリー

シーンメモリーの機能追加

読み出し専用のシーンメモリーを作成できるようになりました。

特定のシーンを読み出し専用に指定することにより、コンソールファイルをロードした場合でも上書きされないようになります。

■ SCENE LIST ウィンドウ



① R マーク (READ ONLY)/ プロテクトマーク

読み込み専用のシーンには R マーク、ライトプロテクトのかかったシーンにはプロテクト (錠前) マークが表示されます。

シーンのプロテクトの有効 / 無効を切り替えるには、選択されているシーンの R マーク / プロテクトマークを押します。押すたびに、プロテクト (錠前) マーク表示、R(READ ONLY) マーク表示、マークなしを切り替えます。

・ プロテクト (錠前) マーク

シーンの上書きができなくなります。

・ R(READ ONLY) マーク

プロテクトに加えて、USB メモリーからのファイルのロードなどでも上書きができなくなります。なお、この設定はシーン番号 001 から連続したシーン番号のみ設定可能です。

・ マークなし

何もプロテクトされません。

NOTE

シーン番号 000 の R マークは、無効にできません。

グラフィック EQ/ エフェクト /PREMIUM RACK

グラフィック EQ の機能拡張

GEQ の操作にて、ゲイン値を変えたときに調整前後の音の違いを比較できるようになりました。



GEQ ポップアップ画面で FADER ASSIGN フィールドの各ボタンを押して、操作する帯域を変更します。各周波数に対応するフェーダーでゲイン値を調整したあと、点灯した [ON] キーを押して消灯させると、該当する周波数がすぐに ± 0 dB に戻ります。

CL V2.0 以降では、もう一度 [ON] キーを押すと変更した値にまた戻り、比較が容易になりました。ただし、[ON] キーを消灯させた状態で別の周波数に対応するフェーダーの [ON] キーを押した場合、変更した値はキャンセルされ ± 0 dB に戻ります。

ユーザー設定

ネームディスプレイの機能追加

チャンネルネームディスプレイに Dynamics1 および 2 のゲインリダクションメーターなどが表示できるようになりました。

また、SENDS ON FADER モードのときにチャンネルがオフの場合、チャンネルネームディスプレイが反転表示します。

プリファレンスでチャンネルネームと番号だけ、もしくはゲインリダクションメーター、またはチャンネルエンコーダーの値のどちらを表示するかを選択できます。



“NAME ONLY”ではチャンネルネームとチャンネル番号が表示されます。

“GR METER”では GR METER、フェーダーのレベル値も合わせて表示されます。

“ENCODER INFO”では各チャンネルのフェーダーストリップにある GAIN/PAN/ASSIGN ノブに割り当てられた任意の機能の情報が表示されます。V1.7 までの“FULL FUNCTION”と同等です。

GATE 
 COMP 
VOCAL
 CH 1 -20.00
 GR METER 表示

NOTE

GR METER はゲインリダクションの動きを簡易的に確認するための機能です。

レコーダー(Nuendo Live)

レコーダー(Nuendo Live) の機能追加

Yamaha Console Extension V2 に対応しました。これによりマーカーのディスクリプションをコンソールから編集できるようになりました。

■ マーカーのディスクリプション編集

1. ファンクションアクセスエリアの RECORDER ボタンを押して RECORDER 画面を表示させます。



2. 画面の右上にある NUENDO Live タブを押します。

① マーカーリストフィールド

このフィールドを押すと、マーカーの情報を編集するキーボードウィンドウが表示されます。

3. キーボードウィンドウにて、マーカーのディスクリプションを編集します。

そのほかの機能

GPI の機能追加

GPI OUT で設定できる機能が追加されました。

ファンクション	PARAMETER 1	PARAMETER 2	解説
DANTE	REDUNDANCY IND.	PRIMARY	DANTE オーディオネットワークに関して、スター接続（リダンダンシーネットワーク）使用時に主回線（プライマリー）が動作しているときにアクティブになる。
		SECONDARY	DANTE オーディオネットワークに関して、スター接続（リダンダンシーネットワーク）使用時に副回線（セカンダリー）が動作しているときにアクティブになる。

USER DEFINED キーに割り当て可能な機能追加

USER DEFINED キーに割り当てができる機能が追加されました。

ファンクション	PARAMETER 1	PARAMETER 2	解説
CUE	CUE MODE		キューモードを切り替える。
DCA ROLL-OUT	LAST DCA SEL		選択した DCA グループを展開したり、通常状態に戻したりする。
	DCA1		
	:		
	DCA16		
FADER BANK SNAPSHOT			A,B,C 全ブロックのバンク設定を記憶（キーを 2 秒以上押す）、または最後に記憶したバンク設定を表示（キーを押し、2 秒未満で離す）。
NUENDO LIVE	ADD MARKER		NUENDO Live の ADD MARKER を実行する。
SCENE	INC		1 つ後に存在する番号のシーンを選択する。
	DEC		1 つ前に存在する番号のシーンを選択する。
	RECALL		現在選ばれているシーンをリコールする。
	STORE		現在の設定をストアする。
SENDS ON FADER	MIX1-24	NORMAL/WITH CUE	通常の機能オン/オフの切り替え（NORMAL）と CUE 付きの機能オン/オフの切り替え（WITH CUE）。WITH CUE は、SENDS ON FADER モードに入るときや SENDS ON FADER モード中に切り替えるときに、キューが有効になる。また、WITH CUE で SENDS ON FADER モードから抜けるときに、すべてのアウトプットチャンネルのキューが解除される。
	MTRX1-8	NORMAL/WITH CUE	
	MIX ON FADER	NORMAL/WITH CUE	
	MATRIX ON FADER	NORMAL/WITH CUE	
	SENDS ON FADER	NORMAL/WITH CUE	

USER DEFINED ノブに割り当て可能な機能追加

USER DEFINED ノブに割り当てができる機能が追加されました。

ファンクション	PARAMETER 1	PARAMETER 2
DIRECT OUT LEVEL	LEVEL	SELECTED CH, CL5: CH1 - CH72, CL3: CH1 - CH64, CL1: CH1 - CH48
OUTPUT LEVEL	LEVEL	MIX1 - MIX24, MTRX1 - MTRX8, ST L, ST R, MONO (C)
SCENE	SELECT	
RECORDER	INPUT GAIN	
	OUTPUT GAIN	

ファンクション SET BY SEL に関して、PARAMETER 1 の表記を QL シリーズと共通にしました。

また、ファンクション SEND ENCODER MODE は表記を SEND MODE に変更しました。

ASSIGNABLE ENCODER に割り当て可能な機能追加

ASSIGNABLE ENCODER(GAIN/PAN/ASSIGN ノブ) に割り当てができる機能が追加されました。

ファンクション	チャンネルネームディスプレイでの表記
NO ASSIGN	(何も表示されません。)
DIGITAL GAIN	D.GAIN
EQ ATT	ATT
INPUT DELAY	DELAY スケール表示は、m, ms, ft, となり、sample は無表記です。
DIRECT OUT LEVEL	D.OUT



ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト:
<http://www.yamahaproaudio.com/japan/>
ヤマハマニュアルライブラリー:
<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

C.S.G., PA Development Division
© 2014 Yamaha Corporation

2014年6月発行 IP-A0